

# 外国語の向上に 関する検討会

## ALTの効果的な活用について



ミック・ケビン  
プログラムコーディネーター  
(財)自治体国際化協会

# 自己紹介

- 出身: ジャマイカ
- 現在: JETプログラムコーディネーター
- その前: 宮城県で5年間JET参加者
- ALTとしてJETプログラムで  
2003に年来日: 県立高校のALT
- カウンセリング担当者の経験



# JET ALT 主な業務

- JET参加者:9割がALT
- 小中高も含めて、全国津々浦々に配置
- 多数校訪問のケースも多い
- ティームティーチングが通常
- オーラルコミュニケーションが中心



# 私の経験

- 英語科を持つ高校に配置
- 生徒たちも先生たちもレベルが高い
- 担当した授業
  - Computer Assisted Instruction (CAI)
  - ALTのOC時間
- 普通科はALTとの授業は1年生のみ

# ALTの活用について:授業内

- 3年生までALTを活用する授業を増やす
- OC以外でもALTを活用する
- 4つのスキルを総合的に使えるようにする
- 英語以外の授業でALTのスキルを生かす



# ALTの活用について: 授業外

- 英語を実践的に使える機会を増やす
- 授業外の活動のサポートと推進
- ALTのスキルや趣味を生かす
- 授業外と授業内の繋がりを強化する





# ALTの活用について: 指導

- オリエンテーションや研修を通じて英語教育に関する情報提供をさらに充実させる
- 役割・期待 ⇒ 実践 ⇒ 評価・フィードバック
- 上記の点について、学校側の理解も必要



JETプログラムは外国語教育の充実と地域レベルの国際交流の進展を目標としており、学校現場での国際理解の推進にもメリットがあります。





# ご清聴ありがとうございます



[www.jetprogramme.org](http://www.jetprogramme.org)

